

平成 2 5 年 度 事 業 報 告

平成 2 5 年度は、公益財団法人としてさらなる公益性の向上を目指した事業の拡充を進めるとともに、快適で活力ある名古屋のまちづくりを推進し、もって地域の健全な発展に寄与するため、自主的・自立的・持続可能な経営基盤の構築を目指し、各種事業を実施した。

また、新規事業の実施にあたり、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第 1 1 条第 1 項に規定する変更の認定を受け、公益目的事業の拡充を図った。

公益目的事業の変更認定

新規事業を実施するため、公益目的事業の内容の変更認定申請を行い、愛知県知事より変更認定を受けた。

(1) 概要

事業番号	事業の内容	変更の内容	変更の理由
公 3	都市機能を有する施設の建設等による地域拠点の活性化に関する事業	金城ふ頭地区活性化事業を新規追加	金山地区に続く新たな地域拠点として金城ふ頭地区を追加し、受益対象の拡大を図ることによって、都市機能の維持増進による快適で活力ある名古屋のまちづくりを推進し、地域の健全な発展に寄与するため
公 4	まちづくりに関する調査及び研究、情報の収集及び提供並びに人材の育成及び交流に関する事業	まちづくり活動団体の助成に、特定企業からの寄付金を原資とする助成事業を新規追加	寄付者である特定企業と覚書を締結し、寄付金を原資に中川運河を舞台とする市民交流や創造活動が継続的に行われるよう助成することによって、同運河のにぎわいと魅力の向上に資するため

(2) 経緯

平成 2 5 年 5 月 3 1 日	変更認定申請
平成 2 5 年 6 月 2 0 日	愛知県公益認定等審議会開催、答申
平成 2 5 年 6 月 2 7 日	愛知県知事による変更認定

事業の実施状況

【公益目的事業】

- 1 用地の取得及び売却その他の土地区画整理事業の促進及び支援によるまちづくりコーディネートに関する事業（定款第4条第1項第3号）

公共施設の整備改善及び宅地の利用増進を図るため、都市計画上重要性の高い都市計画事業としての土地区画整理事業を支援・促進することにより、新市街地や既成市街地における健全な市街地の形成に寄与することを目的として事業を行った。

事業総括表

事業項目	経常損益
(1) 新市街地における高次都市機能導入のための土地区画整理事業の促進・支援による、まちづくりコーディネート事業 (2) 既成市街地における土地区画整理事業施行地区内の建物移転促進による、まちづくりコーディネート事業	82百万円

- (1) 新市街地における高次都市機能導入のための土地区画整理事業の促進・支援による、まちづくりコーディネート事業

新市街地において商業・業務、交通結節等の高次都市機能を導入する土地区画整理事業について、事業施行者である土地区画整理組合から業務を受託するとともに、公正・中立な立場を生かし、行政機関、地権者等の多様な主体を調整するまちづくりコーディネーターとして、土地区画整理事業を促進・支援した。

区分	受託組合	業務内容
一般組合	1組合 (茶屋新田)	一般事務、換地設計、工事設計・監理・監督、補償業務等の各種受託業務
特定組合	4組合 (下志段味・上志段味 大高南・中志段味)	

- (2) 既成市街地における土地区画整理事業施行地区内の建物移転促進による、まちづくりコーディネート事業

公共施設の未整備や防災安全性上の向上などの課題を抱える既成市街地の土地区画整理事業施行地区内において、移転促進用地の売却を行い、公正・中立な立場を生かして、権利者等を調整するまちづくりコーディネーターとして、土地区画整理事業を促進・支援した。

区分	地区名	筆数	面積
売却	大曾根北（北区）	2筆	57㎡
	筒井（東区）	1筆	50㎡
計		3筆	107㎡

2 歴史的建造物の保存及び活用の推進に関する事業（定款第4条第1項第4号）

名古屋市に残された貴重な歴史的建造物の保存・活用を推進し、潤いある豊かな生活環境の創造を図り、個性的で活力ある地域社会の実現と健全な発展に寄与することを目的として事業を行った。

事業総括表

事業項目	経常損益
(1) 歴史的建造物の保存・活用の推進 (2) 旧春田鉄次郎邸及び旧豊田佐助邸の保存・活用 (3) 旧加藤商会ビルの保存・活用	10百万円

(1) 歴史的建造物の保存・活用の推進

歴史的建造物の保存・活用を官民が連携して推進するために、学識経験者、行政関係者等からなる「名古屋歴史的建造物保存活用推進会議」を運営するとともに、歴史的建造物に関する情報の収集・発信を行った。

また、保存・活用に関する技術的支援として、専門家「なごや歴まちびと」の養成を行い、現地への派遣等を実施するとともに、市民意識の啓発を目的としたワークショップの開催など、歴史的建造物の発掘から保存・活用にいたるまでのコーディネート業務を行った。

区分	実施内容
名古屋歴史的建造物保存活用推進会議の運営	推進会議 2回開催、専門家育成部会 2回開催
情報の収集・発信	ホームページ「なごや歴まちネット」の運営 アクセス件数 20,061件

技術的支援（なごや歴まちびとの養成、派遣等）	養成講座 第 期：平成23年1月～6月 修了 28名 第 期：平成24年1月～7月 修了 30名 第 期：平成25年1月～7月 修了 19名 （修了登録者 77名） フォローアップ講座 知識習得の実践的講座（見学会） 延べ122名 主な活動実績 現地への派遣による助言・指導等 6箇所10名 ワークショップ等への参加 延べ40名
市民意識の啓発	歴史的界隈ワークショップの開催等

(2) 旧春田鉄次郎邸及び旧豊田佐助邸の保存・活用

名古屋の近代化の歩みを伝える歴史的遺産である旧春田鉄次郎邸及び旧豊田佐助邸について、建造物等の保存・活用を図るため、維持管理業務を受託し一般公開するとともに、旧春田鉄次郎邸について、一般利用施設（店舗・事務所）として活用した。

区分	旧春田鉄次郎邸	旧豊田佐助邸
管理業務	建物清掃、庭園管理、機械警備、軽微な修繕等	
活用業務	東区ガイドボランティアを活用した施設案内	
	見学者数 1,375名	見学者数 6,923名 （耐震工事のため9月から再開）
	転貸	フレンチレストラン「デュボネ」 貸事務所「白壁アカデミア」

(3) 旧加藤商会ビルの保存・活用

大正から昭和初期の近代建築の特徴を残す国の登録有形文化財である旧加藤商会ビルについて、建物及び設備の保全に努めるとともに、一般利用施設（店舗）として活用した。

区分	地下1階	地上1～3階
管理業務	建物及び各種設備維持管理、定期保守点検等	
活用業務（転貸）	タイレストラン 「サイアムガーデン」	

3 都市機能を有する施設の建設等による地域拠点の活性化に関する事業（定款第4条第1項第2号）

地域拠点において、広域的に影響を及ぼす商業施設やホテル等の高次都市機能を導入・集積することにより、都市としてのイメージ向上や地区への来訪促進を図るとともに、周辺街区の民間再開発や土地の高度利用を誘発するなど、事業効果が地域及び社会全体に広く波及し、地域の活性化及び健全な発展に寄与することを目的として事業を行った。

事業総括表

事業項目	経常損益
(1) 金山南ビル等の管理運営 (2) アスナル金山等の管理運営 (3) 金山総合駅連絡通路橋の管理 (4) 金城ふ頭地区活性化	30百万円

(1) 金山南ビル等の管理運営

金山南地区のシンボル、ランドマークとして先導的開発を行った金山南ビルについて、ホテル床を賃貸するとともに、ビル全体の共用部管理及び金山駅南駐車場の管理運営を行った。

区分	床面積	施設概要
名古屋ボストン美術館	5,816㎡	企画・常設展示室、ミュージアムショップ
名古屋都市センター	5,724㎡	まちづくり広場・ライブラリー、会議室
ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋	32,746㎡	客室246室、宴会場、飲食店
金山駅南駐車場 (公共駐車場)	16,813㎡	収容台数347台 (うち名古屋市所有分42台) 駐車場利用率 11.4%
株式保有に関する記載事項	概要	株式会社ホテルグランコート名古屋 資本金 20億円 役員数 13名
	保有株式数	400株 出資比率1% (平成8年2月27日取得)
	保有理由	主要テナントであるホテルの経営状況把握のため

(2) アスナル金山等の管理運営

金山北地区のイメージ向上及び賑わいの波及による地区の活性化を図るため開発したアスナル金山について、周辺街区との連続性を意識し、魅力的で個性的な商業施設として運営するとともに、アスナル金山駐車場の管理運営を行った。

また、新たな魅力づくりによる賑わいの創出と施設全体の回遊性の強化を目的とした施設のリニューアルについて、昨年度に引き続き、施設改修工事やテナント入替を実施し、6月の第1期オープン、9月の第2期オープンを経て、10月にグランドオープンした。

このほか、金山地区におけるまちづくりの進め方等について検討を行った。

ア 施設の概要

区分	施設概要	管理運営
交通ターミナル施設	延床面積 11,638㎡	施設管理及び駐車場運営 駐車場利用率 22.2%
バス施設	乗車2バス、待機9バス	
一般車・タクシー施設	駐車場棟 1階 一般車 乗降2バス タクシー 乗車1バス 降車2バス	
駐車場	駐車場棟 2～5階 収容台数 197台	
交流の場	延床面積 16,371㎡	施設管理及びテナント運営等 イベント開催 680回
広場	劇場空間広場 約2,300㎡	
商業施設	鉄骨4階建 貸付面積 約8,700㎡ 店舗数 60店舗	
駐輪場	収容台数 1,784台	

イ リニューアルの概要

経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋市有地を活用した公共施設の再編、交流の場の整備 ・15年間の事業用借地の中間期で、施設の陳腐化が進行
実施期間	平成24年度 ～ 平成25年度

コンセプト	ライフスタイル++ (プラス) ~ ちょっと良い日常を楽しめるライフスタイルの提供 ~			
実施内容	目的		主な取り組み	
	新たな魅力づくりによる賑わいの創出		20～30代女性をターゲットとした店舗構成及び集客の実施	
	施設全体の回遊性強化		店舗区画の変更、階段・通路等の新設、誘導サイン工事等	
店舗構成	リニューアル前		リニューアル後	
	ファッション & 雑貨	23区画	ファッション & 雑貨	28区画
	レストラン & カフェ	19区画	レストラン & カフェ	17区画
	フード ショップ	4区画	フード ショップ	5区画
	サービス & カルチャー	19区画	サービス & カルチャー	10区画
	計	65区画	計	60区画

(3) 金山総合駅連絡通路橋の管理

金山南地区（金山南ビル）と北地区（アスナル金山）の連続性や一体感を創出するため、金山駅鉄道利用者や地区住民等の連絡通路として利用される金山総合駅連絡通路橋について、管理を行った。

(4) 金城ふ頭地区活性化

金城ふ頭地区において、円滑な交通処理を実現するために必要となる集約駐車場の整備に向け、名古屋市と連携して、用地確保に係る移転補償契約を締結するとともに、集約駐車場整備の提案競技実施に向けた調整、検討を行った。

区分	実施内容
用地確保	<ul style="list-style-type: none"> 既存物件の移転交渉補助に係る関係機関との協議調整 権利者との移転補償契約の締結 移転補償金の資金調達等に係る関係者との協議調整
提案競技	<ul style="list-style-type: none"> 提案競技の具体的な枠組みの検討、条件整理 駐車場整備予定地の地質調査等 実施方針の公表

4 まちづくりに関する調査及び研究、情報の収集及び提供並びに人材の育成及び交流に関する事業（定款第4条第1項第1号）

名古屋都市センターにおいて、地域の健全な発展と快適で活力ある名古屋を建設するため、行政と市民、まちづくり関係者などを結ぶ中立で公正な第三者機関として、名古屋の個性を生かしたまちづくりの方向性を明らかにすることを目的として事業を行った。

事業総括表

事業項目	経常損益
(1) 調査及び研究 (2) 情報の収集及び提供 (3) 人材の育成及び交流	37百万円

(1) 調査及び研究

名古屋のまちづくりや都市計画行政の新たな課題を先取りし、その解決の糸口を提示するため、学識者、市民、行政等とともに幅広い視点から調査及び研究を実施し、基礎データの収集や課題の分析等を行った。

また、大学の持つ知的資源と地域のまちづくりとの連携を図るための「なごや縁カレッジ」を始め、「中川運河プラットフォーム」などのまちづくりに関わる様々な人との連携を促進する各種プラットフォームについて、事務局として運営した。

ア 調査研究

区分		研究テーマ
自主研究	一般研究	職員による研究 ・都市における空地の評価と活用に関する研究 始め10件
	特別研究	大学等の若手研究者による研究 ・都市における「共働空間」の現状と可能性 (中京大学 埴淵知哉氏)
	市民研究	公募市民による研究 ・那古野(なごや)まち歩き新発見 (1グループ)
受託調査	まちづくりに関する各種調査研究の受託	・減災まちづくり情報システム(ISDM)を活用した教育プログラム検討業務 始め2件

イ 調査研究成果の提供

対象	報告会の実施状況			
市民・賛助会員・市職員	開催回数	1回	参加者数	116名
市職員	開催回数	5回	参加者数	延べ109名
各種団体等	開催回数	14回	参加者数	延べ472名

(2) 情報の収集及び提供

まちづくりに対する関心を高め、理解を深めるため、まちづくり広場及びまちづくりライブラリーの運営、機関誌及び広報紙の発行、ホームページによる情報提供等を行った。

また、自助・共助を中心とした地域力の向上や減災まちづくり活動への活用を図るため、分散した減災関連情報を集約し、地域の災害危険性等を視覚的にわかりやすく表示する「減災まちづくり情報システム」について、昨年度に引き続き、名古屋大学減災連携研究センターと共同でデータの収集・登録等を進め、本格稼働に向けたさらなるシステム構築を図った。

区分	実施内容
まちづくり広場の運営	常設展示・企画展示 来場者数 56,586名
まちづくりライブラリーの運営	閲覧貸出・資料展 利用者数 33,582名(新規登録者322名)
機関誌及び広報紙の発行、ホームページによる情報提供	機関誌「アーバン・アドバンス」(第61号~第62号) 広報紙「ニューズレター」(第96号~第99号) ホームページアクセス数 336,674件
歴史的資料の整理	「名古屋都市計画史」続編の編纂
減災まちづくり情報システムの構築	必要データの収集・登録、展示用端末の設置、 タブレット端末の試行的活用

(3) 人材の育成及び交流

まちづくりへの関心を喚起し、人材を育成するとともに、交流の機会を設けるため、地域のまちづくりの主体的な担い手となる「まちづくりびと」の養成等を実施するとともに、まちづくり基金を活用したまちづくり活動団体への助成、企画展、だがねランド、講演会及びシンポジウム等の開催を行った。

また、中川運河再生に寄与する文化芸術活動に対し、運河沿線に立地する企業からの寄付金を活用した新たな助成事業として、「中川運河再生文化芸術活動助成事業(ARTOC10)」を開始した。

区分	実施内容	
まちづくり支援 (まちづくり びとの養成、 派遣等)	まちづくりびと養成講座 入門編：平成25年9月～11月 37名 ステップアップ編：平成26年3月 14名 まちづくりサロンの開催 まちづくりびと等への情報提供・意見交換 延べ121名 まちづくり組織への派遣 ワークショップ助言・指導等 2箇所 延べ17名	
まちづくり活動 団体への助成	地域“魅力アップ”部門 6団体 “はじめの一步”部門 4団体	
中川運河再生 文化芸術活動 に対する助成	趣旨	中川運河を舞台とする市民交流や創造活動が継続的に 行われるよう支援するため、中川運河「にぎわいゾーン」 の魅力向上につながる現代アート活動への助成
	対象 事業	助成対象区域内で行われる作品発表やワークショップ など、現代アートに関する活動
	件数	3件
企画展の開催	「都市が変わる、技術が支える」 始め22回	
だがねランド の開催	「だがねランド2013」 平成25年7月～8月 参加者数 延べ1,577名	
講演会・シンポジ ウム等の開催	まちづくり講演会 「エコかっこいい！～人も環境も豊かに」 講師：東北大学教授 石田秀樹氏 始め2回 まちづくりセミナー等 「哲学の視点からまちづくりを考える」 講師：徳山高専准教授 小川仁志氏 始め4回 シンポジウム等 The 討論！「ナゴヤ版」減災まちづくりを考える 始め24回	

【収益事業等（公益目的事業の推進に資する事業）】

1 不動産貸付等に関する事業（定款第4条第2項第1号）

公益目的事業を継続的に実施するための財政的な基盤として、所有地及び管理施設を活用して、都市機能の維持増進に資する収益事業を実施した。

事業総括表

事業項目	経常損益
(1) 事務所ビル等賃貸事業 (2) 直営駐車場事業 (3) 名古屋市等からの受託事業 (4) その他事業	281百万円

(1) 事務所ビル等賃貸事業

NUP伏見ビル及びNUP・フジサワ丸の内ビルの管理運営

地域的特性に応じた保有土地の高度利用を図り、地域の活性化に寄与するために建設したNUP伏見ビル及びNUP・フジサワ丸の内ビルの管理運営を行った。

また、両ビルのテナント退去後のフロアについて、テナント誘致に向けた営業活動を継続するとともに、新たなテナントの入居を図った。

区分	貸室面積	入居面積	テナント数	収入金額
伏見ビル	3,609㎡	3,440㎡	12社	224百万円
丸の内ビル	3,232㎡	3,232㎡	4社	
計	6,841㎡	6,672㎡	16社	

平成26年3月末現在

大曽根駅前地下集客施設運営事業

大曽根駅周辺の商業施設との連担性の創出により、賑わいの拡大を図るため、大曽根駅前地下集客施設の運営を行った。

土地賃貸事業

土地の有効利用を図るため、保有土地の貸付を行った。

その他

土地賃貸方式で運営している錦三丁目駐車場の用地を活用した開発計画について、引き続き検討を行った。

(2) 直営駐車場事業

駐車場が不足する地域における駐車難の解消と違法駐車への抑制に寄与するため、保有土地等を活用し、月極駐車場等の管理運営を行った。

また、施設の老朽化に伴い閉鎖した南外堀駐車場の用地について、施設の撤去後、時間貸し駐車場等により暫定活用を図るべく、用地貸付を行った。

区分	箇所数	収容台数	契約台数	収入金額
月極駐車場	89箇所	2,743台	2,263台	281百万円
時間貸駐車場	1箇所	9台		5百万円
駐車場用地貸付	3箇所			44百万円
計	93箇所	2,752台	2,263台	330百万円

平成26年3月末現在

(3) 名古屋市等からの受託事業

名古屋市営駐車場の管理

名古屋市の指定管理者として、名古屋市営久屋駐車場及び古沢公園駐車場の管理運営を行った。

また、駐車場利用者の安全性や利便性向上のため、久屋駐車場及び古沢公園駐車場内へ歩行者路側帯を整備した。

市民利用施設の管理

大曽根駅前地下施設、栄市民サービスコーナー等の管理を行った。

(4) その他事業

金山総合駅連絡通路橋施設運営事業

金山総合駅連絡通路橋において、イベント広場や吊下看板、懸垂幕を活用した施設運営を行うとともに、カラーコルトンやトライビジョン等を活用した広告事業を行った。

また、開業以来更新されていない広告媒体について、リニューアルに向けた検討を行った。

名古屋都市センター利便施設運営事業

名古屋都市センターの施設の一部を活用し、貸会議室及び喫茶コーナーの運営を行った。

理事会・評議員会の開催

1 理事会の開催

区分	開催日	案件
第8回	平成25年5月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理事長等の職務執行状況の報告について ・ 平成24年度事業報告及び決算の承認について ・ 平成25年度事業計画及び予算の変更について ・ 変更認定申請に係る提出書類について ・ 第5回評議員会の招集について
第9回	平成25年7月16日 (決議の省略)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第6回評議員会の招集について ・ 公益財団法人名古屋まちづくり公社職員退職手当支給規程の一部改正について ・ 新規事業の追加に伴う変更認定の報告について
第10回	平成25年9月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 金城ふ頭駐車場(仮称)の整備に向けた用地確保に関する報告について
第11回	平成25年11月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成25年度上半期事業執行状況の報告について
第12回	平成26年2月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成26年度事業計画及び予算について ・ 公益財団法人名古屋まちづくり公社経営戦略計画(平成26年度~平成28年度)の策定について
第13回	平成26年3月26日 (決議の省略)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第7回評議員会の招集について ・ 会計監査人の報酬について ・ 公益財団法人名古屋まちづくり公社理事長職務権限規程の一部改正について ・ 公益財団法人名古屋まちづくり公社就業規則の一部改正について

2 評議員会の開催

区分	開催日	案件
第5回	平成25年6月17日	<ul style="list-style-type: none">・平成24年度事業報告及び決算の報告について・新規事業の追加に伴う変更認定申請の報告について・役員業績評価の実施について
第6回	平成25年7月26日 (決議の省略)	<ul style="list-style-type: none">・理事の選任について
第7回	平成26年3月31日 (決議の省略)	<ul style="list-style-type: none">・評議員の選任について・理事の選任について・常勤監事の報酬年額について